明星

亀山市立白川小学校だより
第５１号
平成３１年３月２２日（文責　川合）

～であい　ふれあい　そして未来へ～自分を発揮し　求め続ける白川っ子の育成

7名の卒業生巣立つ

３月２０日（水）卒業証書授与式を行いました。７名の卒業生が将来の夢を語り、その理由やそのために自分は何をしていくべきかを発表しました。

また、壁面の絵には将来を思い浮かべた絵がはってあり、より臨場感がありました。

証書を渡すと、みなさんから一人ひとりに大きな拍手をいただきました。

それだけ、卒業生の堂々とした姿が印象に残った時間でした。

在校生も心を込めて、今までの思い出を力強く語りました。また、みんなで歌った『友～旅立ちの時～』は、とても音色がきれいでした。

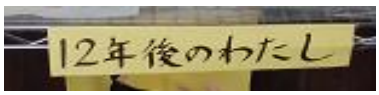
来賓の皆様からは、『感動した』というお言葉をたくさんいただきました。

卒業おめでとう。白川ならではの地域とともに学んできた体験学習やつくしの家との交流学習はこれからの生き方の中で大きな支えとなっていくことでしょう。

また、少人数の中で学んだこと、学んできたことは、白川っ子タイムでの発表に見られるようにすばらしいコミュニケーションの力をつけてきたのではと思います。

中学校へ行って、新しい友だちをたくさん作り、一生懸命学んでいってほしいと思います。

卒業生、図工の作品　『１２年後の私』



卒業生が、図工で１２年後の私をイメージして、作品を作りました。

英語の先生　プログラマー　一級建築士
水泳選手　　サッカー選手　キャビンアテンダント
医者　　いい夢ですねぇ。

卒業記念に

ひょうたん池の近くのベンチに机があったらということで、卒業生が記念に机を作ってくれました。これについては以前に学校だよりで紹介しました。その場所を『ほっこり広場』と名付けてくれました。卒業式の前日にみんなに披露しました。つかれた時には『ほっこり』と鯉を見ながらくつろいでください。